

リハビリテーション技術科

リハビリテーション技師長 武田 いづみ

1. 部門の概要・紹介

リハビリテーション技術科は理学療法士 7 名、作業療法士 5 名、言語聴覚士 2 名、計 14 名体制で行っています。

施設基準は脳血管等リハビリテーション(I)、廃用症候群リハビリテーション(I)、運動器リハビリテーション(I)、呼吸器リハビリテーション(I)、がん患者リハビリテーション、摂食機能療法を取得しております。

また 365 日体制で、土曜日・日曜日・祝日も 5 名～6 名を基準に出勤し、早期介入・継続したリハビリテーション介入を心がけ、業務に取り組んでいます。

2. 本年度の「病院事業運営方針」等に基づく部門の取組目標

- (1) リハビリ総合計画評価料、目標設定等支援管理料、退院時リハビリ指導料の算定件数 増加 (前年度比)
- (2) 疾患別リハビリ料 1 職員 1 日平均取得単位数 15 単位以上
- (3) 新設される急性期リハビリ加算の確実な算定

を目標とし、取り組んでいます。

3. 主な出来事

- (1) 業務交流・業務応援

6 月に当院の理学療法士 1 名と大東病院の理学療法士 1 名が業務交流を実施しました。1 月からは大東病院から応援要請を受け、週 1 回業務応援に理学療法士を 1 名派遣しました。また 8 月から 9 月にかけて言語聴覚士 1 名 (男性) が 1 ヶ月の育児休暇を取得し、胆沢病院から業務応援をいただきました。

- (2) 臨床実習受け入れ

岩手リハビリテーション学院の理学療法学科 4 年生 1 名、3 年生 1 名、作業療法学科 3 年生 1 名、仙台リハビリテーション専門学校の理学療法学科 2 年生 1 名、東北文化学院大学の理学療法学科 2 年生 1 名、計 5 名が当科にて臨床実習を行いました。臨床実習指導者講習会を修了したスタッフが指導し、患者対応や評価・治療プログラム立案など一連の流れを学びました。

3. 令和 6 年度実績

(1) 件数、単位数、点数

| 療法種別 | 項目 | 令和 6 年度 | 令和 5 年度 | 増減 | 増減率 |
|--------|-----|-------------------|-------------------|------------------|--------------|
| 理学療法 | 件数 | 17,742 | 17,161 | 561 | 3.4% |
| | 単位数 | 22,911 | 22,269 | 642 | 2.9% |
| | 点数 | 6,601,231 | 6,118,875 | 482,356 | 7.9% |
| 作業療法 | 件数 | 13,172 | 11,833 | 1,399 | 11.3% |
| | 単位数 | 18,524 | 15,410 | 3,114 | 20.2% |
| | 点数 | 5,460,995 | 4,404,635 | 1,056,360 | 23.9% |
| 言語聴覚療法 | 件数 | 5,775 | 5,130 | 645 | 12.6% |
| | 単位数 | 7,144 | 7,111 | 33 | 0.5% |
| | 点数 | 2,067,835 | 2,046,010 | 21,825 | 1.1% |
| 摂食機能療法 | 件数 | 36 | 292 | ▲256 | ▲87.7% |
| | 単位数 | 36 | 292 | ▲256 | ▲87.7% |
| | 点数 | 6,660 | 54,020 | ▲47,360 | ▲87.7% |
| 合計 | 件数 | 36,725 | 34,416 | 2,309 | 6.7% |
| | 単位数 | 48,615 | 45,082 | 3,533 | 7.8% |
| | 点数 | 14,136,721 | 12,623,740 | 1,512,981 | 11.9% |

(2) 処方数

| 療法種別 | 令和 6 年度 | 令和 5 年度 | 増減 | 増減率 |
|--------|---------|---------|-------|--------|
| 理学療法 | 3,437 | 2,784 | 653 | 25.7% |
| 作業療法 | 2,600 | 2,035 | 765 | 27.8% |
| 言語聴覚療法 | 869 | 712 | 157 | 22.1% |
| 摂食機能療法 | 7 | 28 | ▲21 | ▲69.5% |
| 全体処方数 | 6,913 | 5,559 | 1,354 | 24.4% |

(3) のべ処方数

| 療法種別 | 令和 6 年度 | 令和 5 年度 | 増減 | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 理学療法 | 35,287 | 29,029 | 6,258 | 21.6% |
| 作業療法 | 28,634 | 21,847 | 7,287 | 31.1% |
| 言語聴覚療法 | 10,798 | 9,397 | 1,401 | 14.9% |
| 摂食機能療法 | 63 | 865 | ▲802 | ▲92.7% |
| 全体のべ処方数 | 74,782 | 61,138 | 13,644 | 17.4% |

4. 終りに

令和5年度と比較して、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の処方数および延べ処方数は増加しましたが、摂食機能療法は処方数が大幅に減少しています。これはほとんどすべての言語聴覚療法処方が疾患別リハビリテーションで処方されることによるものと思われます。

また、件数・単位数・点数については、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の件数・単位数・点数がすべて増加したことにより収益増収にも繋がり、昨年度に比べて収益は15,128,000円増収となりました。

栄養管理科

栄養管理科長 名久井 美佐子

1 概要

(1) 職員数 36 名

管理栄養士 8 名(うち南光病院付き 1 名)・栄養士 1 名・事務員 1 名
調理師 27 名・調理手 4 名

(2) 業務内容：入院患者への食事提供及び栄養管理全般

南光病院入院患者、デイケアへの食事提供及び栄養管理全般

入院・外来栄養食事指導

栄養サポートチーム(専任配置)

2 行事食等実施状況

| | |
|------------|--------|
| 行事食 | 年 24 回 |
| いわて食財の日 | 年 12 回 |
| いわて減塩・適塩の日 | 年 12 回 |



4 月 花だより弁当

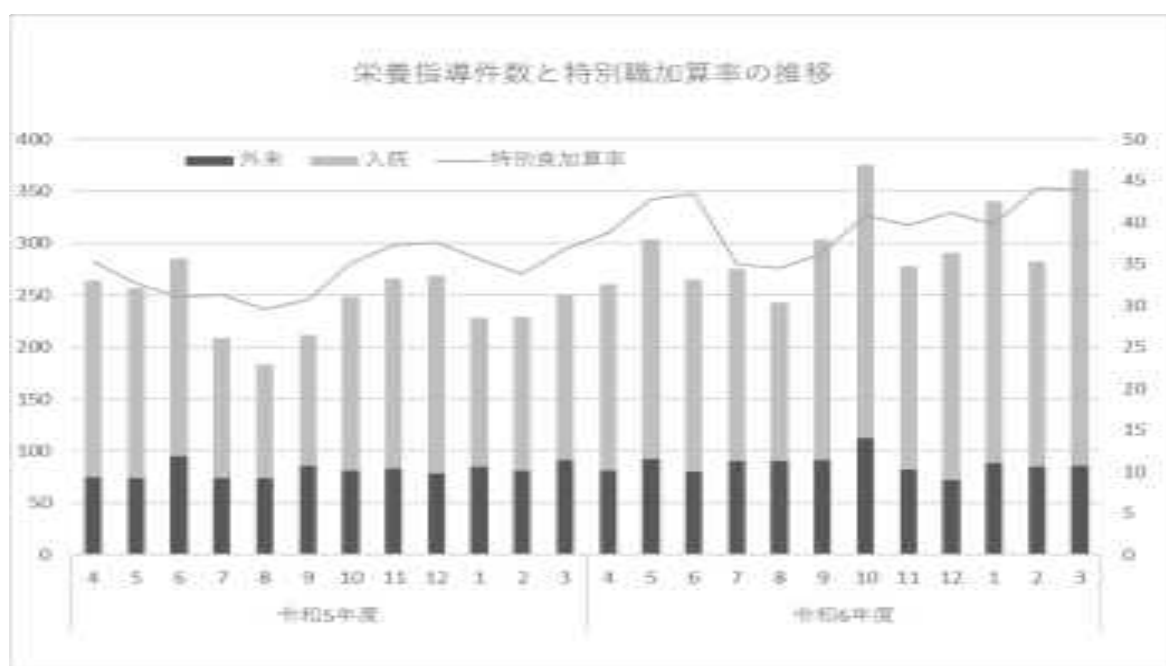


8 月 お盆



12 月クリスマス

3 栄養管理・栄養指導状況



給食業務関連収益

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 糖尿病透析予防指導 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-----------|-------------|-------------|-----------|--------|--------|
| 患者食 | 113,962,700 | 114,589,600 | 件数 (件) | 0 | 8 |
| 経管栄養(市販品) | 3,484,270 | 2,688,900 | 金額 (円) | 0 | 28,000 |
| 特別加算食 | 4,748,326 | 5,323,288 | 栄養情報連携料 | | |
| 食堂加算 | 3,511,700 | 3,371,610 | 件数 (件) | 33 | 65 |
| 特別メニュー | 149,800 | 57,900 | 金額 (円) | 16,500 | 45,500 |
| 収益計 | 125,856,796 | 126,031,298 | 前年比較 | | |
| | | 174,502 | | | |

栄養指導による収益

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 体液量等測定 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------------|-----------|-----------|---------------|---------|---------|
| 外来栄養食事指導 | | | 件数 (件) | 167 | 177 |
| 初回(件) | 463 | 492 | 金額 (円) | 100,200 | 106,200 |
| 継続(件) | 518 | 557 | 栄養サポートチーム | | |
| 件数合計(件) | 981 | 1049 | 栄養サポートチーム (件) | 151 | 169 |
| 初回(円) | 1,203,800 | 1,279,200 | 歯科医師連携加算 (件) | 138 | 146 |
| 継続(円) | 1,036,000 | 1,114,000 | 金額 (円) | 371,000 | 411,000 |
| 金額合計(円) | 2,239,800 | 2,393,200 | 収益計 | 487,700 | 590,700 |
| | | | 前年比較 | | |
| 入院栄養食事指導 | | | 103,000 | | |
| 初回(件) | 1649 | 2047 | | | |
| 継続(件) | 352 | 495 | | | |
| 件数合計(件) | 2001 | 2542 | | | |
| 初回(円) | 4,287,400 | 5,322,200 | | | |
| 継続(円) | 704,000 | 990,000 | | | |
| 金額合計(円) | 4,991,400 | 6,312,200 | | | |
| 栄養食事指導収益計(円) | 7,231,200 | 8,705,400 | | | |
| | | | | | |
| 前年比較 | | 1,474,200 | | | |

4 まとめ

- ・「安心・安全で美味しい食事をとおして、適正な栄養管理・給食管理を実施し、チーム医療に貢献します」を目標に、NST 活動や栄養指導、病室訪問による食事対応など実践しました。欠員がある状況でしたが、特別食加算率の増とともに栄養指導件数増に努めました。
- ・平成 28 年より月 1 回岩手県の取り組みである「いわて減塩・適塩の日」を実施し、食事をとおして減塩の重要性について啓発活動を継続しています。
- ・調理師の取り組みとして、今後の安定的な給食提供のために「新調理専任講師研修会」を受講し研鑽に励みました。今後も「安全・安心でおいしい食事」の提供のために取り組んでまいります。

地域連携室

主査 長倉 学

1. 部門紹介・概要

紹介患者にかかる文書でのやり取りや、医療・介護における外部団体・関係機関との連絡調整に携わっており、その他講演会・研修会の企画や広報関係等も担当し、地域医療福祉連携室の中のいわゆる「連携事務」全般を担っています。

業務や使用する情報システムの都合上、事務：医事経営課の室内で業務を行っており、医療福祉相談室（MSW）や入退院支援室（看護師）とは別室となっています。

令和6年度は、正規職員3名、会計年度任用職員2名及び紹介・予約センターに従事する医事委託職員4名の人員構成です。

2. 主な業務内容

- (1) 受診・転院などの連絡調整
- (2) 外部団体・機関・施設等との連携
- (3) がん拠点病院・地域支援病院にかかる関係事務
- (4) 各種研修会・講演会等の企画調整
- (5) 広報・年報の作成、ホームページ・Facebookでの情報発信

3. 活動実績

<地域・院外との連携>

| 内容 | 日程 | 回数 | 参加者等 |
|--|---------------|-----|-------|
| 第16回両磐地域緩和ケア医療従事者研修会 | R6. 9. 14(土) | 年1回 | 16名 |
| 一関市医療と介護の連携連絡会 | | | |
| ①幹事会：出席（医師・看護師・事務） | 不定期 | 年3回 | — |
| ②研修会の企画開催 (第3回磐井病院市民講演会、一関市との共催) | R6. 11. 30(土) | 1回 | 114名 |
| 一関在宅緩和ケア支援ネットワーク (IZAC：アイザック) 定例会議 ※事務局 | 毎月第3火曜日 | 12回 | 計286名 |
| 岩手緩和ケアテレカンファランス (岩手県がん診療連携協議会共催) | 毎月第3月曜日 | 11回 | 計80名 |
| 両磐地域連携パス検討会 | | | |
| ①脳卒中地域連携パス | 不定期 | 年3回 | 120名 |
| ②大腿骨頸部骨折地域連携パス | 不定期 | 年3回 | 122名 |

<当院の取り組み>

| 内容 | 日程 | 回数 | 参加者等 |
|--|-------------------|-----|------|
| 地域医療支援病院にかかる 「地域医療支援委員会」の開催（外部委員出席） | 4半期毎 | 年4回 | |
| 腫瘍カンファレンス （旧：キャンサーボードミーティング） | 毎月1回 | 12回 | 112名 |
| どこでも医療講座（職員の出前講座） | 不定期 | 18回 | 306名 |
| がん患者・家族サロン「こころば」 | | | |
| ①がんサロン開催 | 毎月第1（水）・ 第3（月） | 21回 | 34名 |
| ②ピンクリボンサロン開催（乳がん） | 毎月第4（水） | 12回 | 7名 |
| 広報誌発行 | | | |
| ①連携いわい（連携医療機関・施設向け） | (No.43～46) | 4号 | — |
| ②和・いわい（一般市民・来院者向け） | (No.28～31) | 4号 | — |
| 令和5年度病院年報発行 | R7.1月 | | — |

医事経営課

医事経営課長 永山 留美子

1. 部門の紹介・概要

令和6年度は医事経営課正規職員7名、会計年度任用職員3名、時間制会計年度任用職員1名の11名体制で業務を行いました。地域医療福祉連携室は正規職員3名、会計年度任用職員2名の5名体制で業務を行いました。

2. 活動内容

(1) 病院経営への参画

毎月開催される経営部会でのDPC分析報告及び改善提案、病院運営連絡会議への資料提供や診療報酬関係情報のグループウェアへの掲示など、適時適切な情報発信に努めました。

また、看護科へデータ提供し、入院患者のベッドコントロールを行うことで、適切な入院日数と収益確保に努めています。

(2) 新基準届出に係る取組み状況

収入確保の取組みとして診療情報提供書・添付加算算定率向上に取り組み、「総合入院体制加算3」を令和元年度に取得しました。令和2年度は新設項目である「地域医療体制確保加算」を取得したほか、「総合入院体制加算3」の施設基準維持等に取り組んでまいりましたが、令和4年度に精神科医師着任を受け、「総合入院体制加算2」、令和5年4月算定開始となりました。令和5年度は院内の体制を整え、看護補助体制充実加算、養育支援体制加算などを所得しました。また、令和6年度は、医療DX推進体制整備加算、診療録管理体制加算1、外来腫瘍化学療法診療料1など診療報酬改定で要件が変更になったものについて、体制を整えて取得しました。

(3) 個人未収金への対応

個人未収金管理については、24時間会計、コンビニ収納、救急会計のクレジットカード払いの積極的活用等、医事業務委託職員と協力し発生防止及び支払いやすい環境の整備に努めております。

また、平成29年5月から全ての県立病院において、未収金の回収促進と収納事務の効率化を図ることを目的に弁護士法人と委託契約を締結しています。

(4) 査定減対策への対応

査定については、全件について医事業務委託職員と分析を行い、査定点数にかかわらず積極的に再審査請求を行っております。

査定率は医保(令和6年度末累計)0.20%(前年比+0.07)、国保(令和6年度末累計)0.09%(前年比△0.01)となっています。査定を恐れず積極的な算定を行っているため、医保は若干増加しております。

(5) 入院費保証制度の継続

令和5年2月より病棟患者へ病衣タオル等をレンタルするCSセットRを導入しております。このセットには未払いとなった入院費を立て替え払いできる入院費保証制度がサービスでついており、未収金対策に役立てております。

(6) 保安専門員の配置

近年、増えている暴言・暴力、威圧的な態度などトラブルを起す患者への対応のため、平成27年4月から保安専門員（警察官OB）を1名配置しております。患者の療養環境、職員の安全・安心の確保に貢献しています。

総務課

総務課長 多田 誠一

総務課は、課長を中心に3つの係で構成されており、総勢19名のスタッフで病院運営の基盤を支えています。

1 組織体制

- ・総務係（給与・経理・福利厚生など）
- ・管財係（資産管理・施設修繕・物品調達など）
- ・臨床研修センター（研修医支援・医学生受入など）

スタッフ内訳（計19名）

- ・正規職員：9名
 - ・会計年度任用職員：10名
- ※臨床研修センター配置、運転手兼作業手、電話交換手を含む。

2 係別の担当業務一覧

| 担当係 | 主な業務内容 |
|----------|---|
| 総務係 | 職員の給与・旅費の支給、経理事務、賃金・報酬の管理、福利厚生、労務・健康管理 |
| 管財係 | 医療器械・備品・車両等の整備、施設・設備の修繕、業務委託・保守契約、診療材料・その他物品の購入調達 |
| 臨床研修センター | 臨床研修医のサポート、医局関連事務、医学生の見学受け入れ・対応 |

3 私たちのミッション

私たちは、病院運営の企画・調整や院内行事の支援を通じて、病院利用者（患者さん）および職員の双方が満足できる環境づくりを目指しています。院内各部署との緊密な連携・協力を大切にし、円滑な病院経営をバックアップします。

また、課内においては、ライフワークバランスを大切にして、職員一人ひとりが安心して業務に従事できるよう、風通しの良い職場づくりを心がけています。

診療情報管理室

診療情報管理室次長 中村 仁

院内の診療情報の管理、取扱いに関する手続きを定め、診療情報を安全かつ適正に管理し、医療の質向上に寄与するよう利活用する部門として設置されています。

診療情報管理室の業務は「診療情報管理規定」に基づき行われています。

【主な業務内容】

- ・ 診療記録の管理
- ・ 診療記録の質的、量的監査
- ・ 医療統計、疾病分類や死亡統計
- ・ がん登録、脳卒中登録
- ・ クリニカルパスの運用、分析等に関すること
- ・ 同意書などの管理に関すること
- ・ D P C等の精度管理
- ・ 診療録開示補助に関すること
- ・ 臨床指標等の作成や医療の質向上に関すること

【スタッフ】

- ・ 診療情報管理室長（副院長兼務）
- ・ 診療情報管理室次長
- ・ 正規職員 1名
- ・ 会計年度任用職員 5名（うち診療情報管理士3名、受講中1名）

【委員会等】

◆ 院内委員会等

- ・ 運営連絡会議
- ・ 管理会議
- ・ セーフティマネジメント部会
- ・ 医療の質向上委員会
- ・ 医療情報管理委員会
- ・ 個人情報管理部会（旧個人情報管理委員会）
- ・ 診療情報管理部会（旧診療情報管理委員会）
- ・ 情報システム管理部会（旧電子カルテ委員会）
- ・ 電子カルテシステム定例会議
- ・ 診療運営委員会
- ・ 経営部会
- ・ クリニカルパス委員会
- ・ 地域がん診療拠点病院運営委員会
- ・ がん登録評価部会
- ・ 広報・ホームページ委員会

◆ 院外（医療局）委員会等

- ・ 診療情報管理業務検討委員会
- ・ クリニカルパス推進委員会
- ・ クリニカルパス標準化作業部会